

スリットラインシリーズ フェンススタイル(たて格子ユニットパネル) 施工説明書

- この度は、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご確認ください。

◎設置場所・位置について



- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 支柱の水抜き穴をモルタル等で塞がないでください。
- 屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。



- 本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- 本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- 製品に電線等を直接載せないでください。
- 各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。

- 無理にボルト・ビスを締付けしないでください。破損の原因となります。
- ラミネート格子の近くで、殺虫剤・除草剤を使用しないでください。有機系・石油系の物質が付着すると、パネルの変色やムラ、変形、割れを生じることがあります。

■スリットラインシリーズ

番号	施工説明書名称	説明書の梱包先	番号	施工説明書名称	説明書の梱包先
ME-1793	フェンススタイル(たて格子) フェンススタイル(DPGパネル+たて格子/よこ格子) ウォールスタイル壁内タイプ(よこ格子)	胴縁エンド部品	ME-1909	フェンススタイル(たて格子)・R納まり	Rタイプ胴縁
ME-1795	直角・自在コーナー(たて格子)	直角コーナー部品 角度自在コーナー部品	ME-2171	フェンススタイル(たて格子ユニットパネル)	胴縁エンド部品 (ユニットパネル用)

もくじ

● 施工前の確認	2	3. 胴縁カバーの取付け	9
● 梱包明細	2	3-1 ズレ防止用ビスの取付け	9
● 納まり図	3	3-2 胴縁カバーの取付け	10
1. 柱の設置	5	● 本体の切詰め	11
1-1 パネル引掛け用ビスの取付け	5	● 高さ違い納まりの施工	11
1-2 柱の設置(フェンススタイルの場合)	5	● 製品のお手入れ方法について	12
1-3 柱の設置(ブロック納まりの場合)	5	● 施工工事店様、販売店様へのお願い	12
2. パネルの取付け	6		
2-1 1スパンのみの場合のパネルの取付け	6		
2-2 2スパン以上の場合の1枚目のパネルの取付け	7		
2-3 2スパン以上の場合の2枚目以降のパネルの取付け	8		

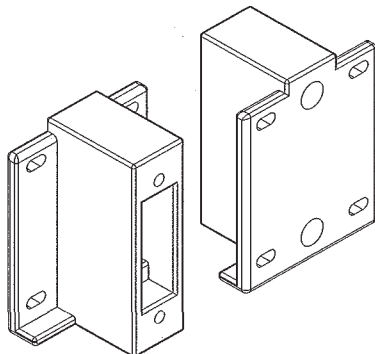
施工前の確認

● 施工前に確認してください。

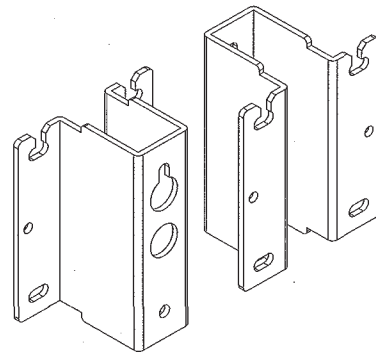
「直角コーナー・自在コーナー・Rコーナー納まり」の施工について

● 「直角コーナー納まり」、「自在コーナー納まり」、「Rコーナー納まり」については、下記の施工説明書の胴縁ジョイント部品[J-1302]を胴縁ジョイント部品(ユニットパネル用)[J-1540]に置き換えて施工してください。

施工説明書番号	施工説明書名称
ME-1795	直角・自在コーナー(たて格子)
ME-1909	フェンススタイル(たて格子)・R納まり



胴縁ジョイント部品
[J-1302]



胴縁ジョイント部品(ユニットパネル用)
[J-1540]

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 施工説明書に記載してある部材・部品(ビス含)以外は使用しないでください。

表中の()は個数を表しています。

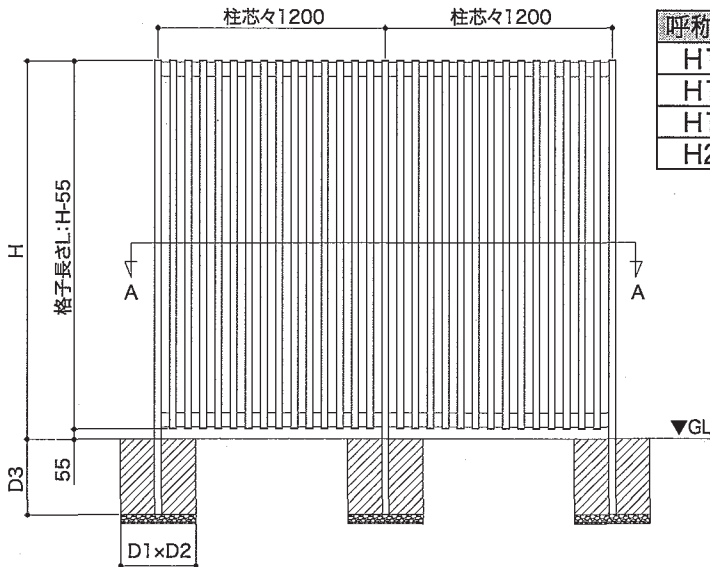
梱包名称	梱包内容
たて格子ユニットパネル	パネル本体(1) [パネル本体構成材:たて格子(14)・胴縁(2)・胴縁カバー(2)]
たて格子柱	たて格子柱(1)
胴縁ジョイント部品(ユニットパネル用)	胴縁ジョイント部品(2)・φ4×25トラスタッピン3種(4) φ4×12トラスタッピン3種(8)・φ4×10セルフドリリングビス(4)
胴縁エンド部品(ユニットパネル用)	胴縁エンド部品(右左各2)・φ4×25トラスタッピン3種(8) φ4×12トラスタッピン3種(8)・φ4×10セルフドリリングビス(4) 施工説明書[ME-2171](1)

納まり図

● 施工前に必ず確認してください。

フェンススタイル納まり図

● 基本納まり図

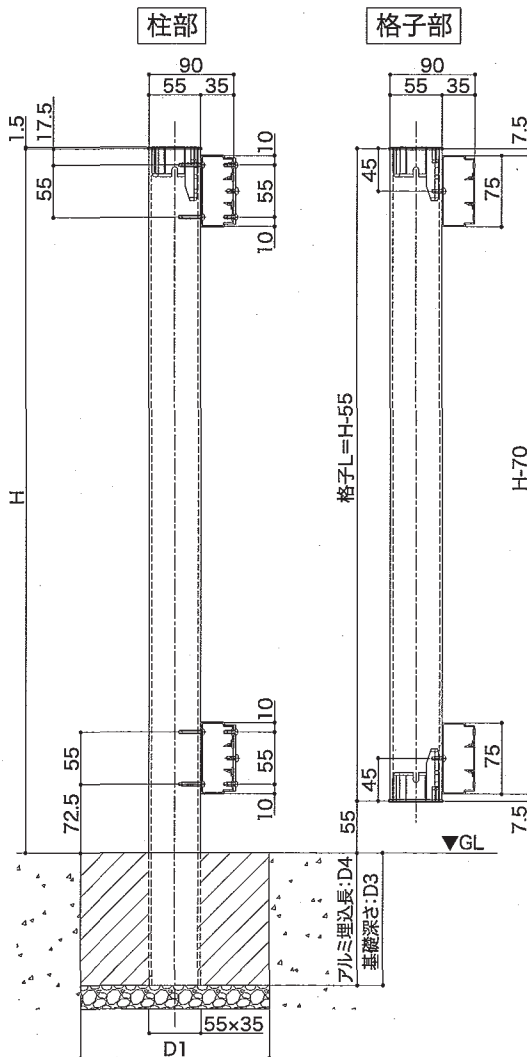


● 寸法一覧表

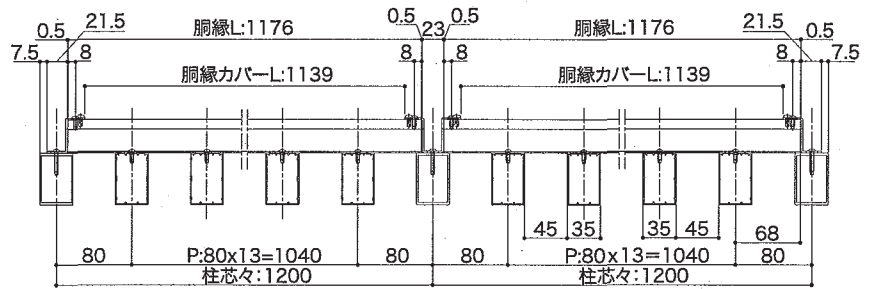
呼称サイズ	H	L	D1	D2	D3	D4
H1200	1200	1145	400	400	200	150
H1500	1500	1445	350	350	300	300
H1800	1800	1745	400	400	400	400
H2000	2000	1945	400	400	400	400

(mm)

● 縦断面図



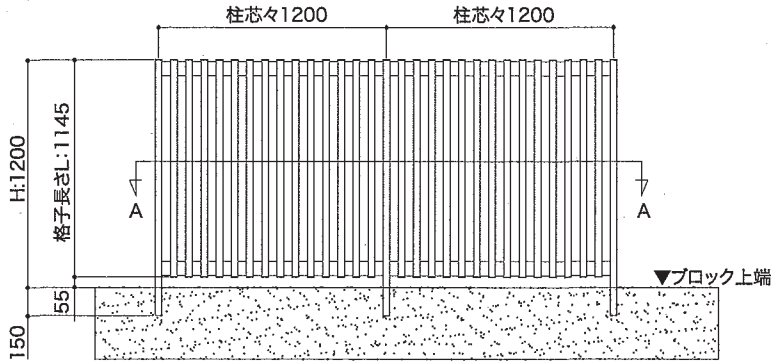
● A-A横断面図



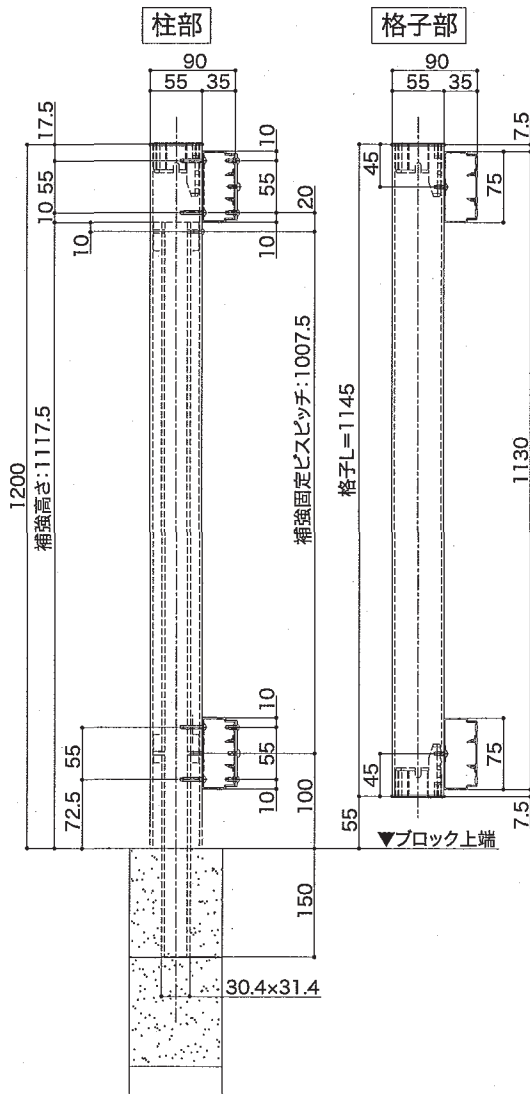
フェンススタイル・ブロック納まり図

※H1200のみとなります。

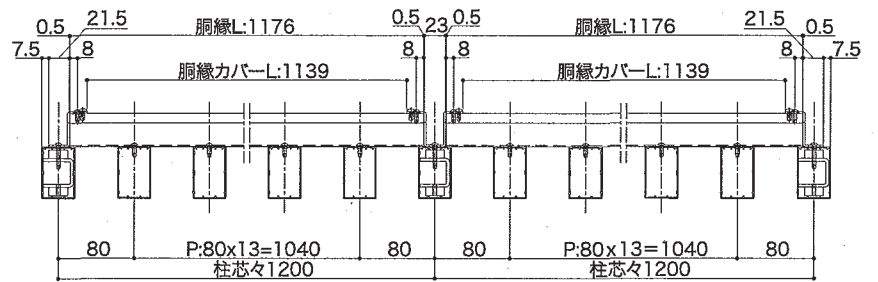
●基本納まり図



●縦断面図



●A-A横断面図

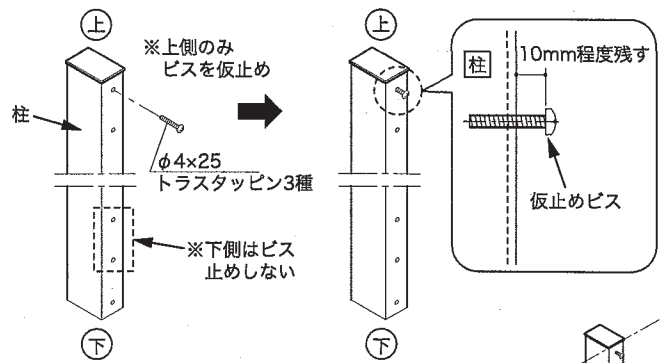


1 柱の設置

1-1 パネル引掛け用ビスの取付け

①柱の上端部の上側の孔に、ビスを仮止めしてください。

! 柱キャップがズレないようにビスを仮止めしてください。



1-2 柱の設置(フェンススタイルの場合)

①「納まり図」で柱の位置やレベルを確認し、柱を設置してください。

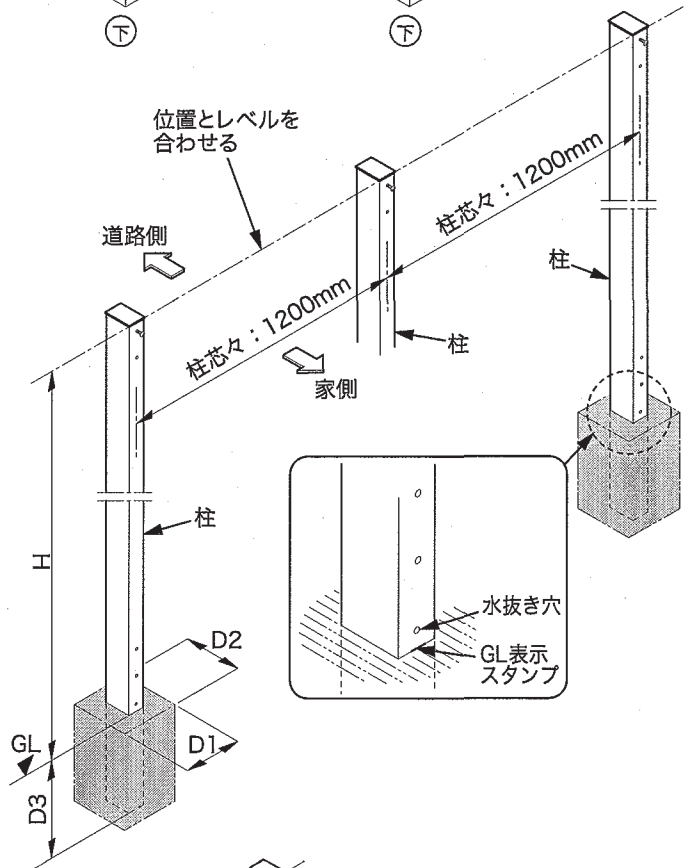
! 地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

● 基礎寸法一覧表 (mm)

呼称サイズ	H	D1	D2	D3
H1200	1200	400	400	200
H1500	1500	350	350	300
H1800	1800	400	400	400
H2000	2000	400	400	400

! GL表示スタンプを目安にしてください。

! 水抜き穴をふさがないようにしてください。
※凍結破損の原因になります。



1-3 柱の設置(ブロック納まりの場合)

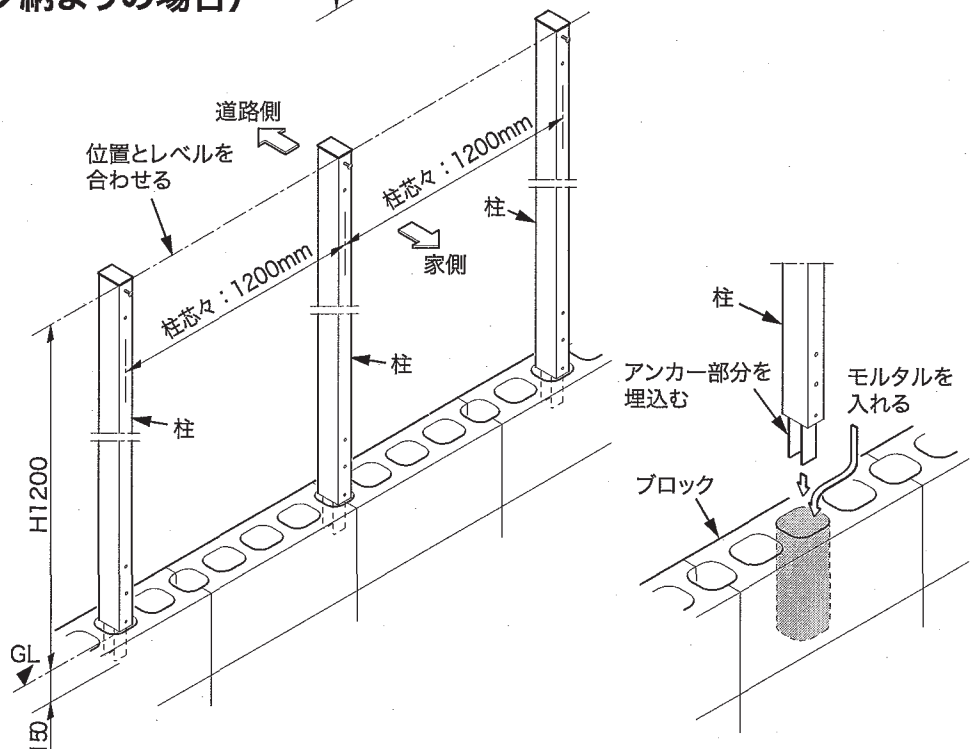
①「納まり図」で柱の埋め込み位置やレベルを確認し、柱をブロックに立ててください。

②ブロック内にモルタルを入れ、柱の補強材部分を埋め込んでください。

! 柱の補強材の部分を埋め込んでください。
※埋め込み寸法=150mm

! 位置とレベルを合わせてください。

! 水抜き穴をふさがないようにしてください。
※凍結破損の原因になります。



2

パネルの取付け

●パネルに上・下の区別はありません。現場にて上・下を決めて施工してください。

2-1 1スパンのみの場合のパネルの取付け

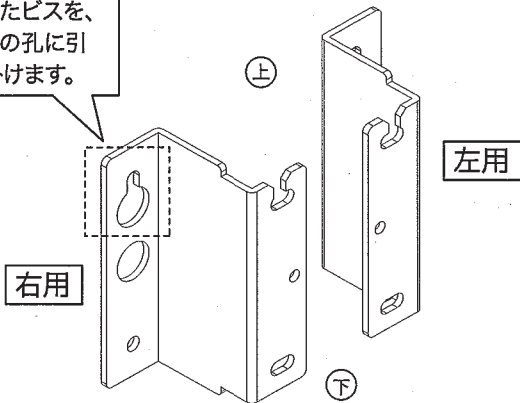
①胴縁エンド部品を上胴縁の両端部に取付けてください。



胴縁エンド部品には、左・右および上・下の区別があります。

●胴縁エンド部品(ユニットパネル用)

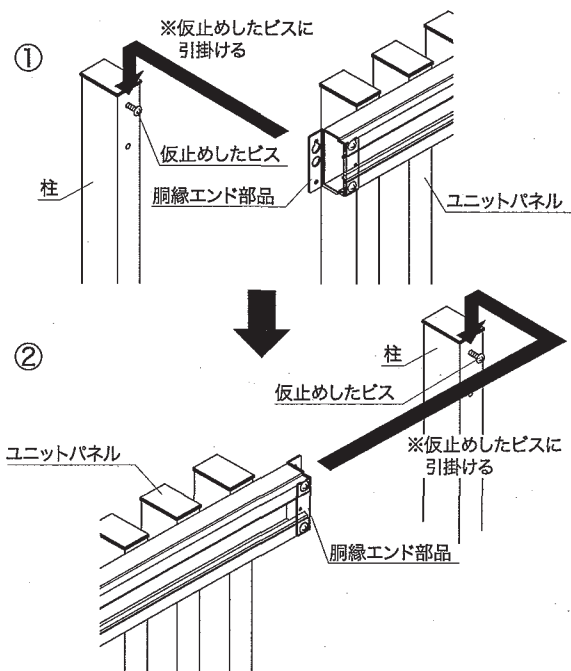
柱に仮止めしたビスを、この孔に引掛けます。



②柱に仮止めしたビスに胴縁エンド部品を引掛けてください。

●取付けのポイント

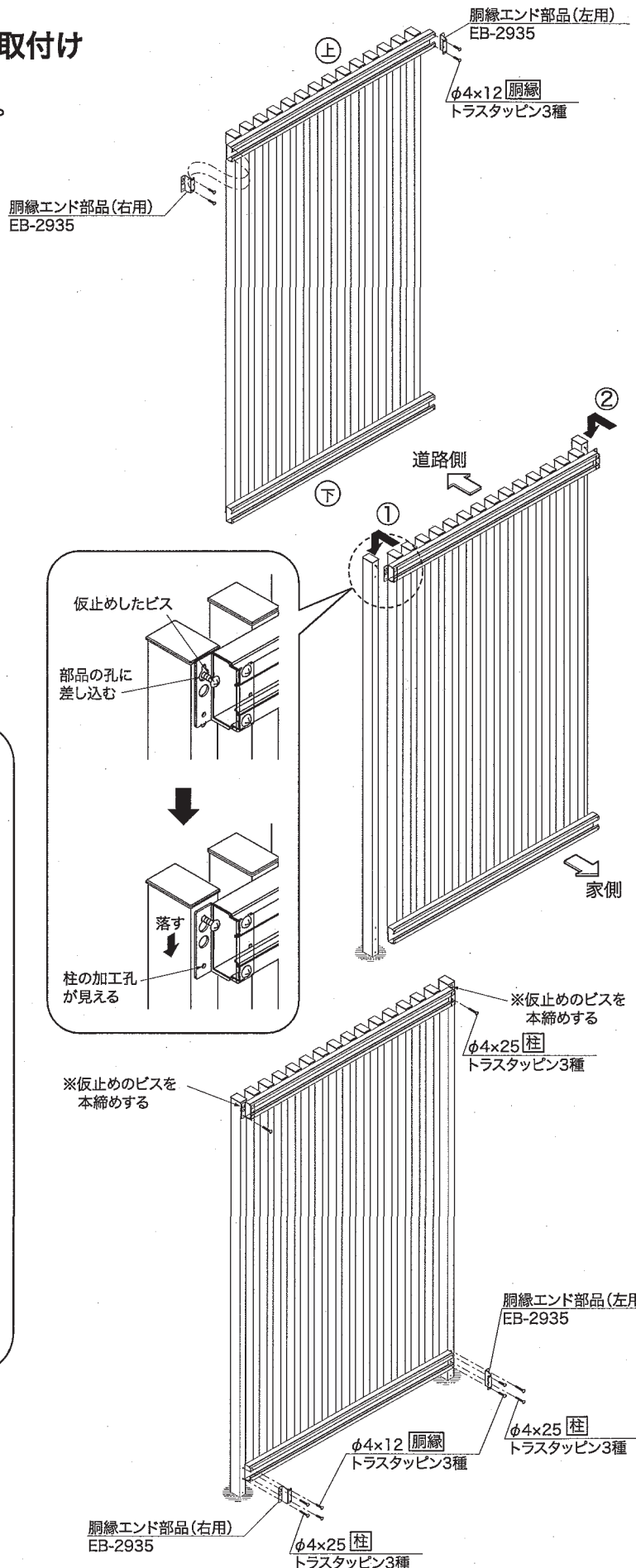
※片側を引掛けてから、もう一方を引掛けてください。



③柱に仮止めしているビスを本締めしてください。また、ビス・胴縁エンド部品を取付けていない部分にビス・胴縁エンド部品を取付けてください。



ビスを確実に固定してください。



2-2 2スパン以上の場合の1枚目のパネルの取付け

※ここでは、外観左側から取付ける場合を表します。

パネルの取付け順序が逆になる場合は、部品取付け順序も逆になります。

① 胴縁エンド部品を上胴縁の外観左側端部に取付けてください。



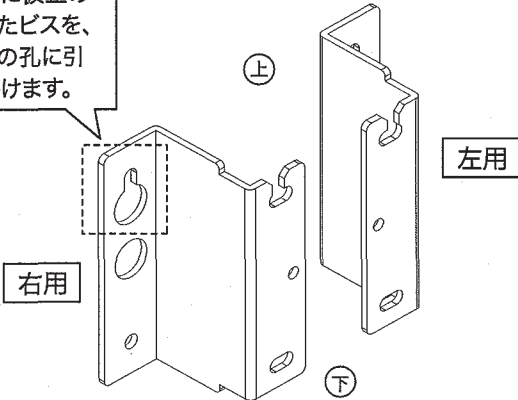
胴縁エンド部品は、端部となるパネルの上胴縁に取付けてください。



胴縁エンド部品には、左・右および上・下の区別があります。

● 胴縁エンド部品 (ユニットパネル用)

柱に仮止めしたビスを、この孔に引掛けます。



胴縁ジョイント部品
J-1540

胴縁エンド部品 (左用)
EB-2935

φ4×12 胴縁
トラスタッピン3種

② 胴縁ジョイント部品を上胴縁の外観右側端部に取付けてください。



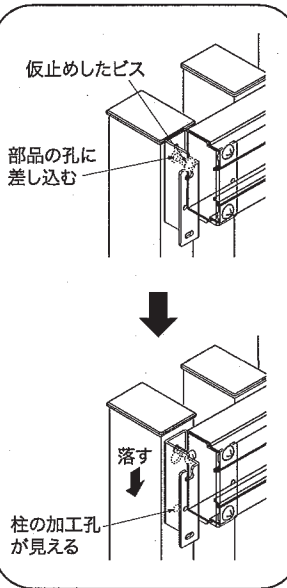
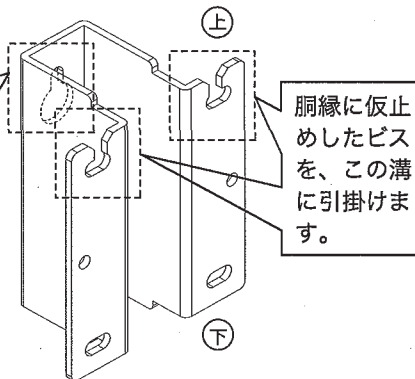
胴縁ジョイント部品は、連結部となるパネルの上胴縁に取付けてください。



胴縁ジョイント部品には、上・下の区別があります。

● 胴縁ジョイント部品 (ユニットパネル用)

柱に仮止めしたビスを、この孔に引掛けます。



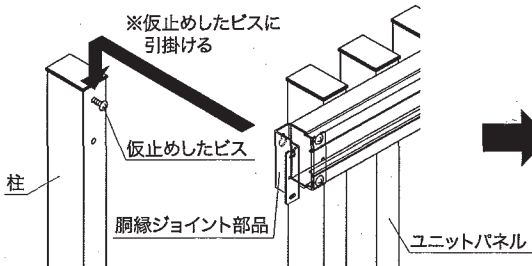
道路側

家側

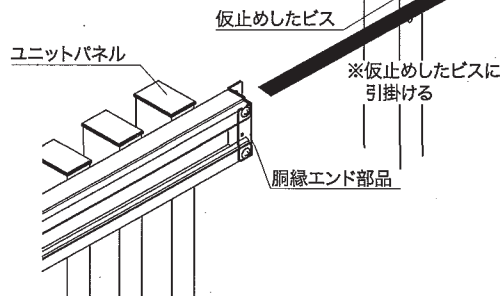
③ 柱に仮止めしたビスに胴縁エンド部品・胴縁ジョイント部品を引掛けてください。

● 取付けのポイント ※片側を引掛けてから、もう一方を引掛けてください。

①



②



- ④ 胴縁エンド部品が取付いた柱に仮止めしてあるビスを本締めしてください。また、まだビス・胴縁エンド部品を取付けていない部分にビス・胴縁エンド部品を取付けてください。

! ビスを確実に固定してください。

☞ 胴縁ジョイント部品が取付いた柱に仮止めしているビスは、まだ本締めしないでください。また、まだ胴縁ジョイント部品を取付けていない部分には、胴縁ジョイント部品を取付けしないでください。
※「2-3」にて取付けます。

2-3 2スパン以上の場合の2枚目以降のパネルの取付け

※ここでは、2スパンの場合を表します。

- ① 胴縁エンド部品を上胴縁の外観右側端部に取付けてください。
※3スパン以上取付ける場合は、胴縁ジョイント部品を取付けてください。

! 胴縁エンド部品は、端部となるパネルの上胴縁に取付けてください。

☞ 胴縁エンド部品には、左・右および上・下の区別があります。(7ページ参照)

! 胴縁ジョイント部品は、連結部となるパネルの上胴縁に取付けてください。

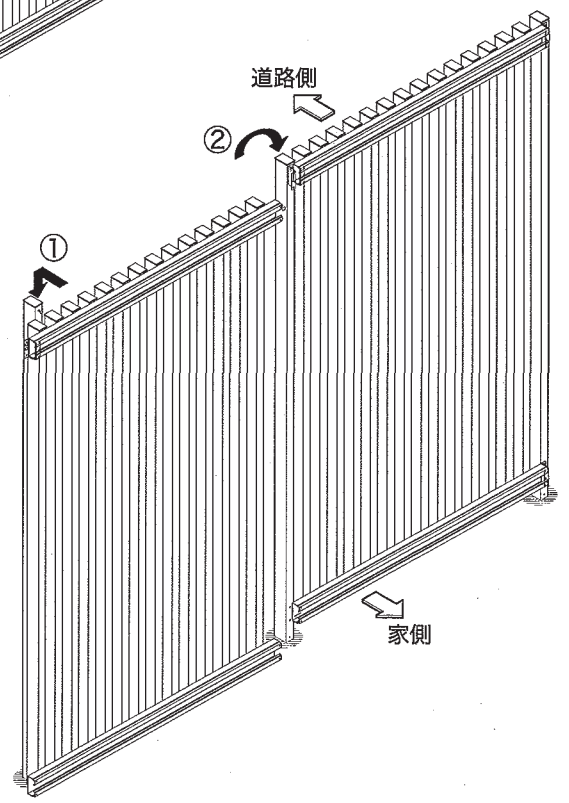
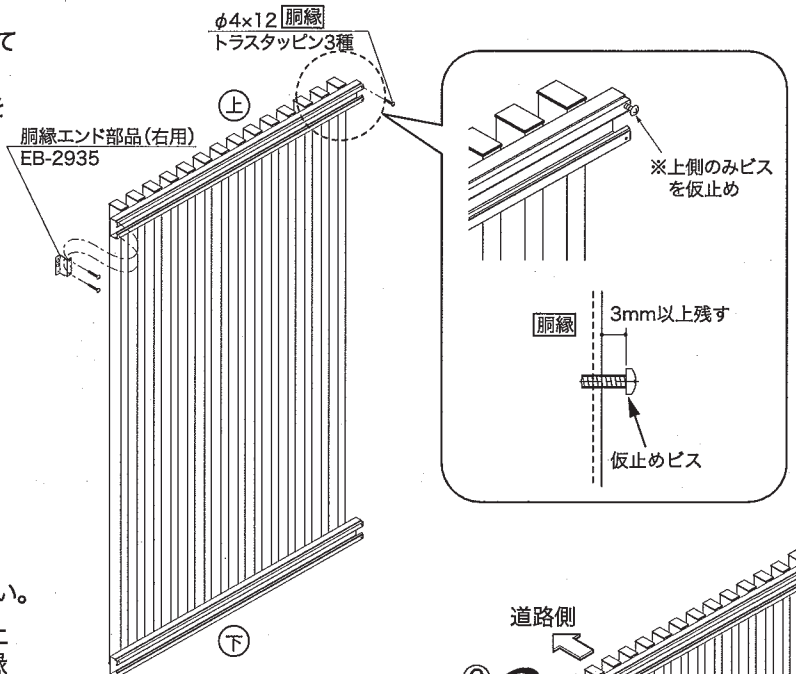
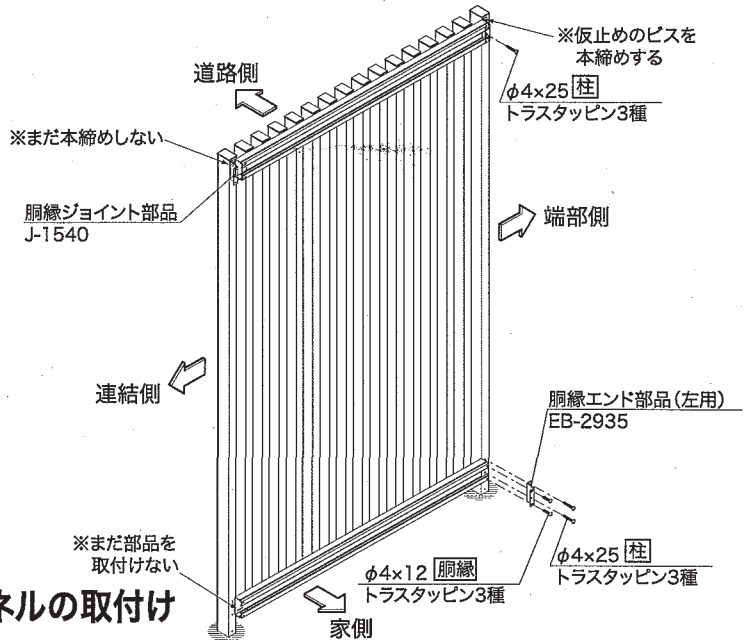
☞ 胴縁ジョイント部品には、上・下の区別があります。(7ページ参照)

- ② 上胴縁の外観左側の上側にビスを仮止めしてください。
③ 柱に仮止めしたビスに胴縁エンド部品(3スパン以上の場合には胴縁ジョイント部品)を引掛けた後、上胴縁に仮止めしたビスを胴縁ジョイント部品の溝に引掛けてください。

●取付けのポイント
※胴縁エンド部品(3スパン以上の場合には胴縁ジョイント部品)を引掛けた後、上胴縁に仮止めしたビスを胴縁ジョイント部品の溝に引掛けてください。

① ※仮止めしたビスに引掛ける。 仮止めしたビス 胴縁エンド部品 柱 ユニットパネル

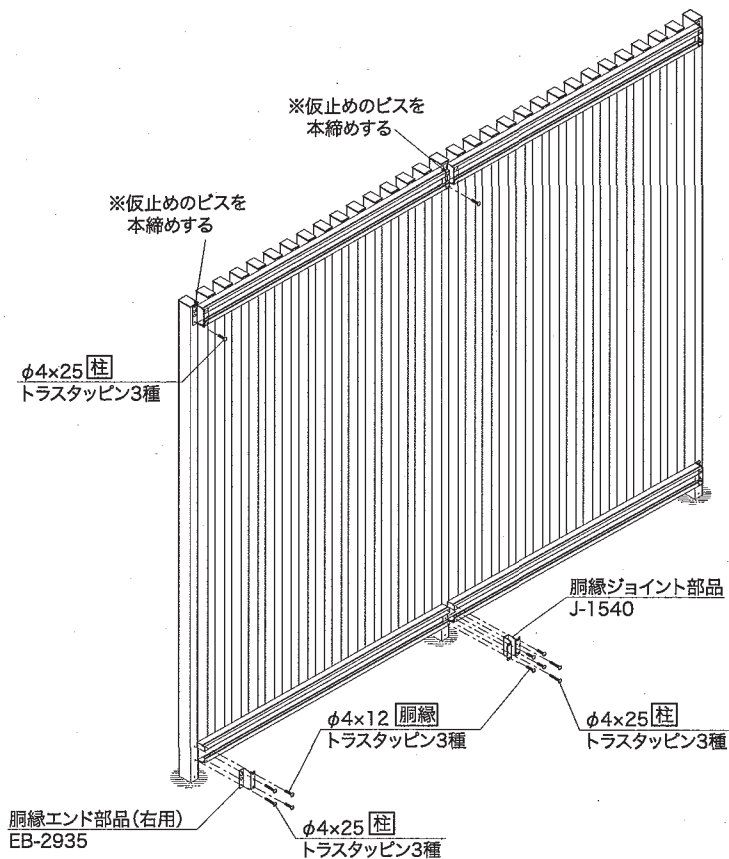
② 仮止めしたビス 胴縁ジョイント部品 ※部品の溝にビスを引掛ける



④柱・胴縁に仮止めしているビスを本締めしてください。
また、ビス・胴縁エンド部品・胴縁ジョイント部品を取付けていない部分にビス・胴縁エンド部品・胴縁ジョイント部品を取付けてください。



ビスを確実に固定してください。



3 胴縁カバーの取付け

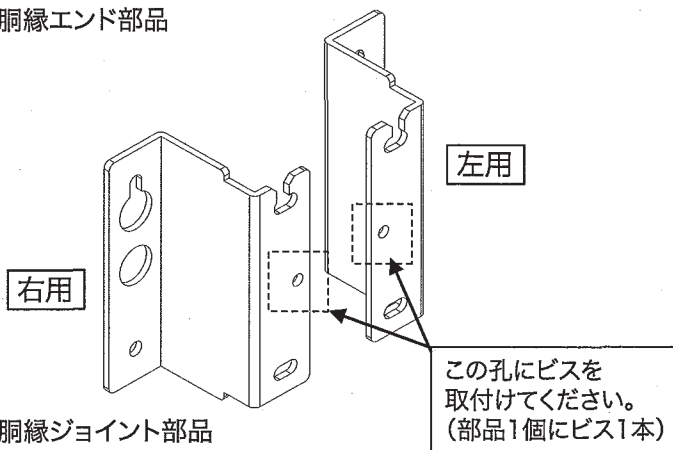
3-1 ズレ防止用ビスの取付け

①胴縁エンド部品・胴縁ジョイント部品に胴縁カバーのズレ防止用ビスを取付けてください。

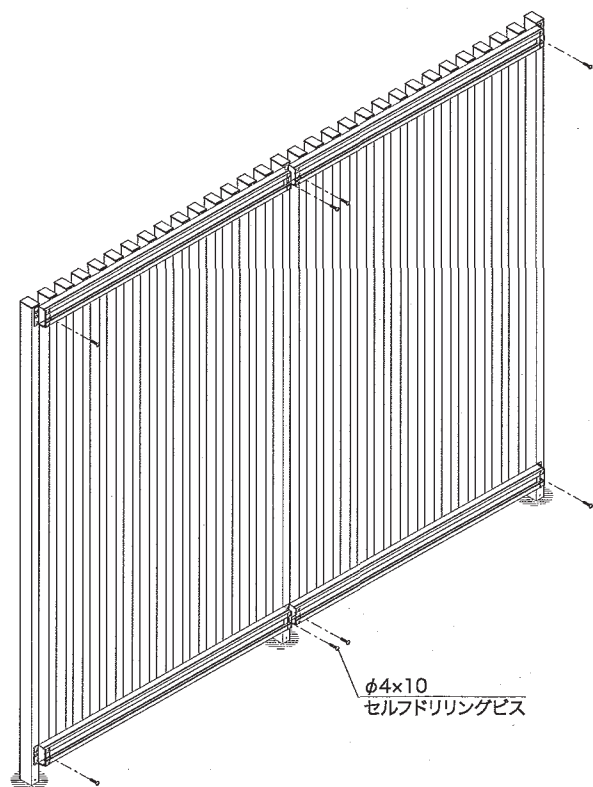
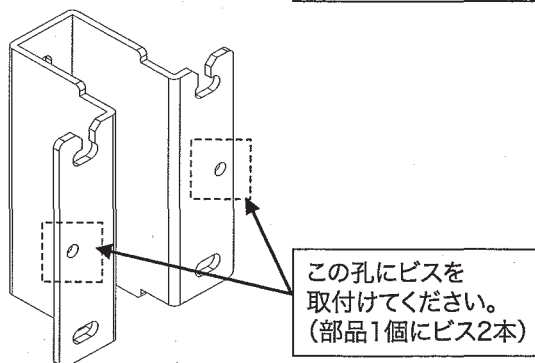


全ての部品の全ての孔にビスを取付けてください。

● 胴縁エンド部品



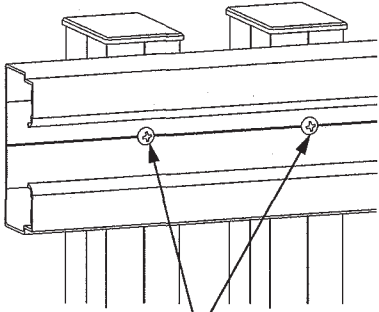
● 胴縁ジョイント部品



3-2 胴縁カバーの取付け



取付け前に、格子の緩みや外れが無い
再度確認してください。
※胴縁カバーの取付け後は格子の取付け
はできません。

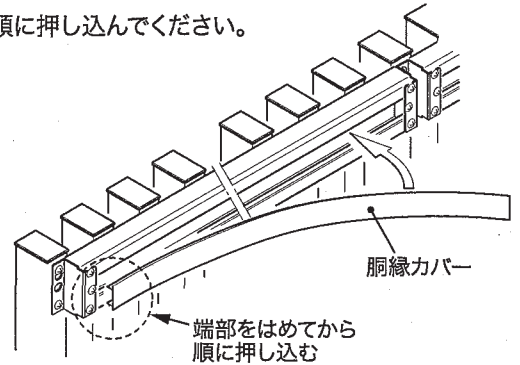


格子を取付けているビスに緩み・外れが
無いかを確認してください。

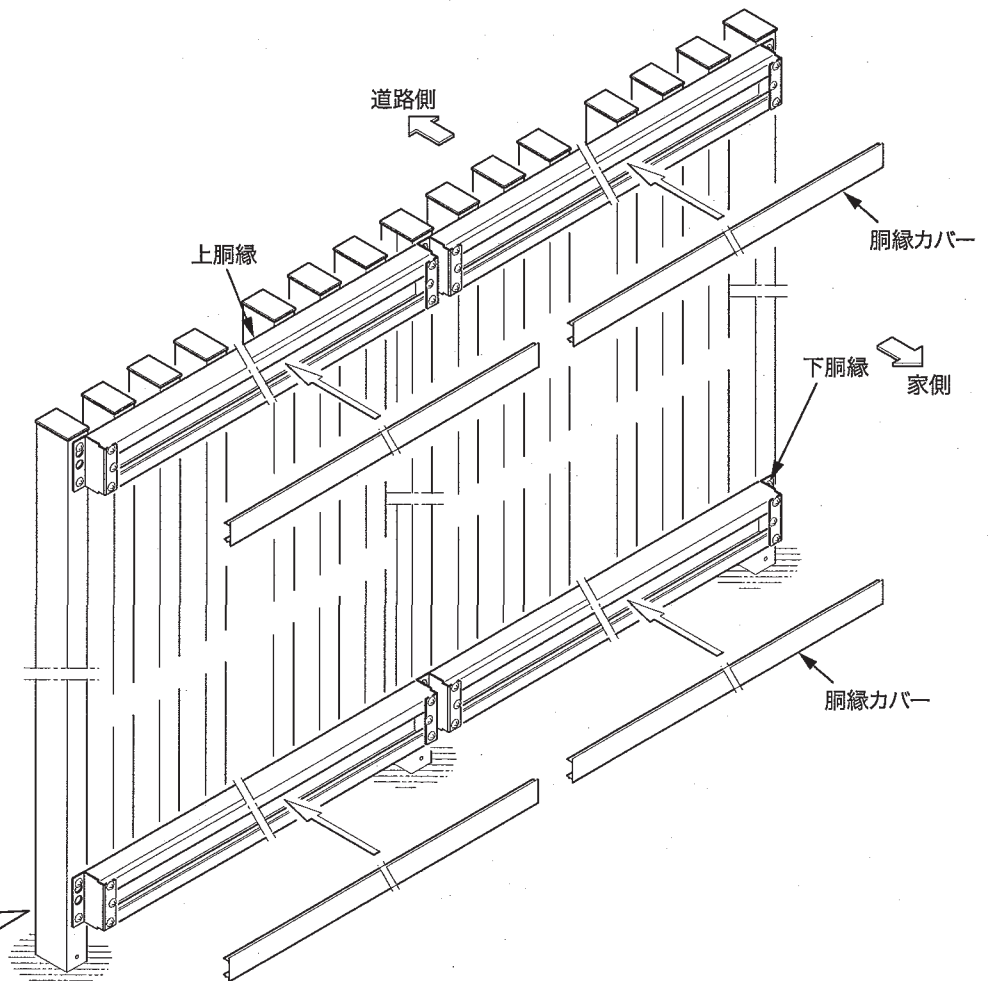
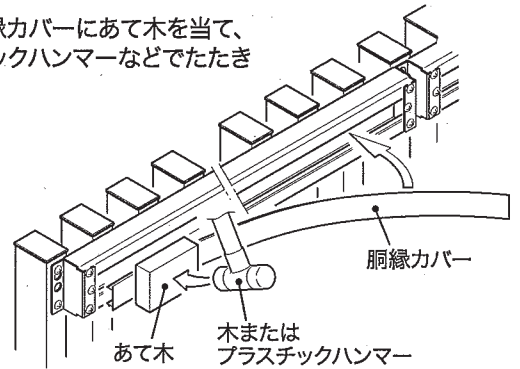
① 胴縁カバーを胴縁にはめ込んで取付けてください。

● はめ込みのポイント

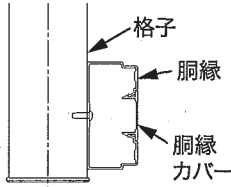
※ 端部をはめてから順に押し込んでください。



※ きつい場合は、胴縁カバーにあて木を当て、
木またはプラスチックハンマーなどでたたき
込んでください。



● 取付部断面図



4 本体の切詰め

● 現場寸法に合わせ、切詰めを行う場合に参照してください。



本商品は指定の切断寸法で切詰めてください。
 ※指定の位置で切断しないと、格子が取付かなかったり、がたつく恐れがあります。

4-1 胴縁の切詰め

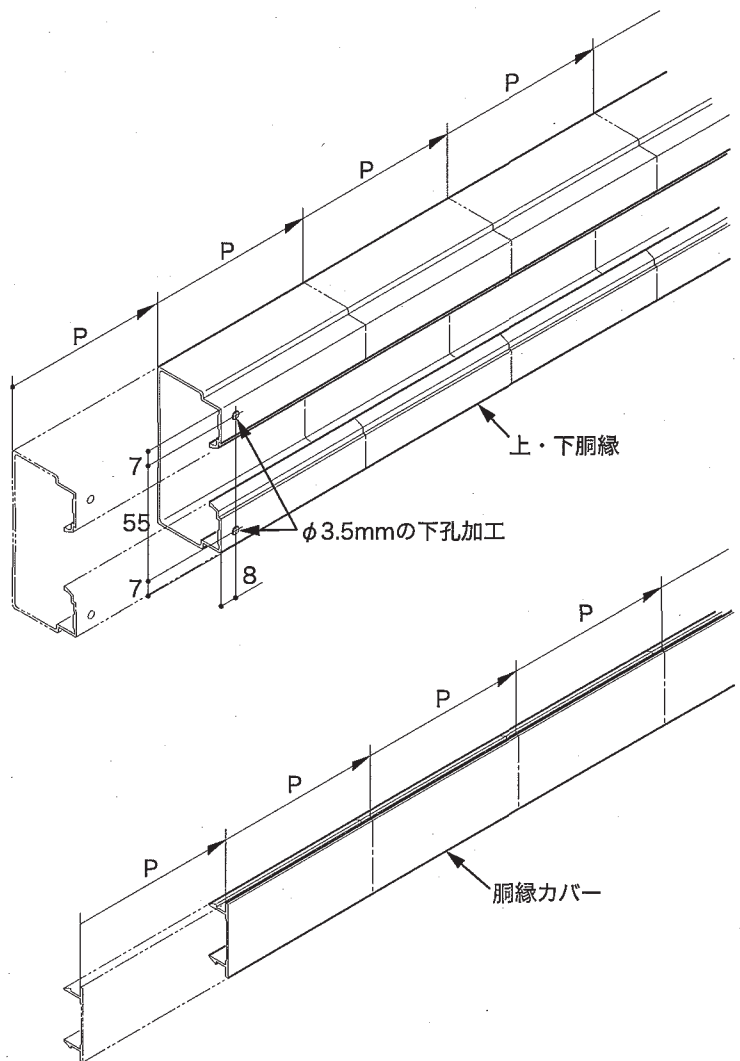
- ①上・下胴縁を指定のピッチで切断してください。
- ②切断後、上・下胴縁にφ3.5mmの下孔をあけてください。

4-2 胴縁カバーの切詰め

- ①胴縁カバーを指定のピッチで切断してください。

●切詰めピッチ (mm)

格子の種類	切詰めピッチ：P
35×55格子	80



5 高さ違い納まりの施工

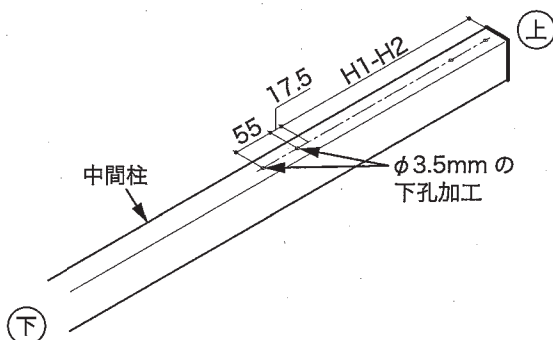
● 「高さ違い納まり」の場合に行ってください。



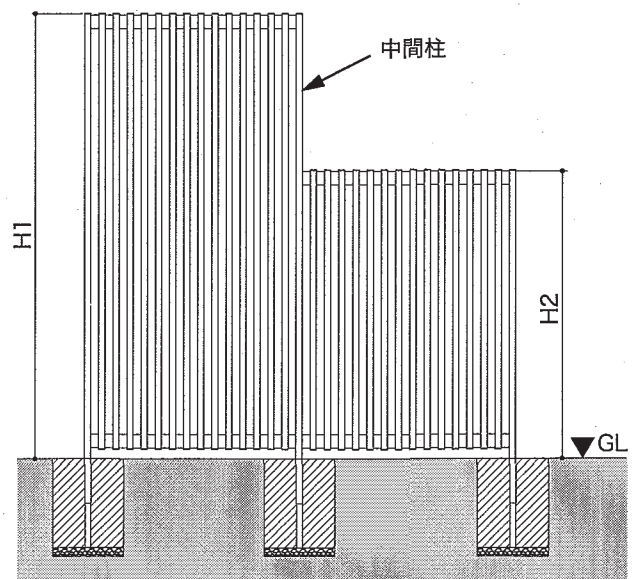
本商品は、現地加工にて図のような「高さ違い納まり」が可能です。
 ※「胴縁エンド部品」を追加する必要があります。

5-1 中間柱の加工

- ①図を参照して、中間柱にφ3.5mmの下孔をあけてください。



● 姿図



製品のお手入れ方法について

ラミネート製品のお手入れ方法

- 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたくようにしてください。
- 年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
- 汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店	TEL ()	-	
販 売 店	TEL ()	-	

株式会社 LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は
下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談センター

 0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ
<http://www.lixil.co.jp>